専門学校　長野自動車大学校

令 和　6　年 度

第１回学校関係者評価委員会

議　事　録

期 日　令 和　7　年　3　月　6　日　（金）

場 所　黒木学園　本部

学校法人黒木学園　専門学校長野自動車大学校

学校関係者評価委員

専門学校　長野自動車大学校

令和６年度　学校関係者評価委員会　議事録

日時：令和７年３月６日　17:00～18:00

I.　会議の開催概要

学校自らが行う自己評価の結果を評価することを基本として行う学校関係者評価の実施及び公表を行い，その評価結果を踏まえた教育活動，その他の学校運営の改善に活用する。

II.　出席者

三沢徳則：長野日産自動車株式会社
谷川哲也：長野県自動車整備振興会
宮本武　：株式会社スズキ自販長野
駒津義之：長野日野自動車株式会社
春原秋夫：長野県専修学校各種学校連合会
宮島英輔：長野自動車大学校
竹内章夫：長野自動車大学校
松本拓実：カレッジオブキャリア
宮澤圭輔：長野自動車大学校（一学年）
花岡大輔：長野自動車大学校（二学年）

III.　議事の承認

三沢徳則：長野日産自動車株式会社
谷川哲也：長野県自動車整備振興会
宮本武　：株式会社スズキ自販長野
駒津義之：長野日野自動車株式会社
春原秋夫：長野県専修学校各種学校連合会
宮島英輔：長野自動車大学校
竹内章夫：長野自動車大学校
松本拓実：カレッジオブキャリア
宮澤圭輔：長野自動車大学校（一学年）
花岡大輔：長野自動車大学校（二学年）

IV.　開会挨拶　（黒木学園　宮島）

令和５年度第１回学校関係者評価委員会・第２回教育課程編成委員会を始めさせていただきたいと思います。

V.　学校長挨拶　（黒木学園　宮島）

厳しい中だが，来年度も運営できる人数が集まった。
現在高校で募集を行う中で一人一人説得して回るような形の募集方法を取っている。
それをやるには他より良い理由が無ければできないが，私たちには一つ確実な理由があり，「就職が良い」，「大きな会社に入れる」学校だということを伝えている。
その部分で選んでくれる学生も沢山いる。就職先があるのも皆様方のおかげであり，本当にありがたく思っております。
他学科ではそれほど強く言えない状況なので自動車科以外も就職を揃えなくてはいけないと思っている。
自動車大学校に関してはこれが間違いなく武器だと思っております。皆様方いらっしゃらなければ私たちもそういった説明ができないので本当にありがたく思っています。
今後安定して入学希望者が出るというところまで行かないと安心してはいけないと思う。
この先を考えると，「長野の整備業界いいよね」と県の方に評価を受けるような風になればいいなと思っている。私たちの学校に入ってくれた子達が皆さんの会社で幸せな生活を送れる事になるとすごく良いと思う。
大きな会社に入れて，更に役職につくチャンスもある会社はなかなか少ないと思う。
「この業界がいい」，「この学校がいい」という評価を受けるとたくさんの方に入っていただけるんじゃないかと思う。そういったチャンスを今感じており，その部分を強みにしていきたい。
これまでやってきた募集方法は学生が多くいる中でやってこれた方法であり，ここからは新しい募集に入らなくてはいけないので，色々ご指導いただければと思いますのでよろしくお願いします。

VI.　学校評価について（配布資料参考）　（黒木学園　宮島）

a)学校の教育目標について
職業に必要な知識技術を身につけそれを資格免許として示し人間的な魅力に溢れた職場で活躍できる職業人を育成する。
課題については最近の新しい時代に合わせた，過去の目的から切り替えて今の目的を再認識し，育成する人材育成像を明確にして学校の変革を行う。今までと同じことを続けてしまうと時代に取り残されてしまうので，学校を変えようと数年間かけて取り組んでいる途中。

b)教育理念・目的・人材育成について　（黒木学園　宮島）

良い自己評価である。

課題は現代の時代に合わせた目標設定をもっと分かりやすく，明確にしていきたいと思っている。

c)学校運営について　（黒木学園　宮島）

全体として良い自己評価である。

何かあった場合でも第三者に説明できるようになっている。

情報システム化について更に強化をしていく必要があると感じている。

d)教育活動について　（黒木学園　宮島）

職員が直接やっている部門は評価が良い。

担当が決まっている部門については担当以外の評価が下がってしまう。全職員へ方向性を周知しなければいけなかったと思っている。評価が低い部分については努力していきたい。

「人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか」について，職員の数が少なく，時間に余裕がないことが３という評価になっていると感じる。

業界等の連携について私の方から伝えていき，3 である部分を改善していきたいと思う 。

e)学修成果について　（黒木学園　宮島）

担任が主に見ているので就職率，資格取得の向上は 4 がついている。

退学率は 3 になっている。学力についていけず，退学してしまう学生が多く，それを止められないジレンマになり，3 になっていると思う 。

卒業生との連携がなかなか取れず，直接企業の方にどのように活躍してるのか，今元気でやっているのかという話をレポートすればいいが，個々に担任が卒業生に電話をしたり，学校に来た時に情報を得てるという状況ですので実際の全員を周知できないところで 3 がついてると思う。

企業の中で早期退社してしまった情報などもいただければ，より卒業後の支援もできると思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします

ｆ)学生支援について　（黒木学園　宮島）

就職支援は企業様との連携で私どもは早い段階から就職活動の意識付けをしている。1 年時に 9 割位が就職内定をいただいてる状況になっており，それに合わせた支援をしているので評価の方は高いと思う。

学生の健康管理を担うところは 3 とついているが，健康診断を行い，体調不良時などは体温を測ってやっていたのでもう少し良いと思っていたが，足りない部分は対応していきたいと思う。

保護者との連携については担任を含めよくやってくれている。
体調面，勉強面，遅刻欠席などについて保護者に連絡しているので，理解をして取り組んでいると思う。
卒業生の支援体制については，状況がわからない部分が多いので改善していきたい。

ｇ)学生の受け入れ募集について　（黒木学園　宮島）
ここ２年間うまくいき，良い評価がついている。

ｈ)財務について　（黒木学園　宮島）
いい評価がついている。

ｉ)法令等の遵守について　（黒木学園　宮島）
すごく気にして守っている。

ｊ)社会貢献・地域貢献について　（黒木学園　宮島）
私たちの貢献方法は無料でボランティアを行うわけではなく，一般の方に来ていただき，日常点検の方法を教えたり，自動車施設の見学を行ったりしている。
学生のボランティアは業界を通じて貢献している。

質疑応答
質疑：委員 A
自己評価の点数が低い部分の問題点について，共有を行う場を設けるように考えているのか。
応答：黒木学園　宮島
春の会議で説明しているが甘い部分があるので改善したい。
質疑：委員 C
学生支援の中で，生活環境の支援とは具体的にどのようなことなのか。
応答：黒木学園　宮島
自然災害などの被害が大きい場合に補助金を出すなどを指していると思う。
学費を免除したり，食材を提供するというわけでない。
学校内では学費を分割にしたりなど対応している。
質疑：委員 D
カリキュラムの改良に時間がかかることについて，テキストの改定が予定されているため大きく変わる内容であり，時間がかかるものだと思って進めてもらいたい。

質疑：委員Ｅ
退学率について，卒業率９０％ということだが，具体的に何名位退学するのか。
応答：黒木学園　宮島
少ないときで２～３名，多いときで７～８名です。
ほとんどが学習意欲が低下し，一年次の後期で辞めてしまうことが多い。
本人の意欲があれば試験も合格しやすいよう準備しているが，それをやらずに退学するケースが多い。
質疑：委員Ｅ
精神的なことが原因で辞める学生もいるのか。
応答：黒木学園　宮島
います。最近不登校の方が多くて，大人数の中では難しいという理由もいる。
質疑：委員Ｅ
研修はハラスメントについてなどの研修も行っているのか。

応答：黒木学園　宮島
研修という形ではなく，会議や注意という方法で行っている。

以上で第一部の方を終了させていただきます。　（黒木学園　宮島）